

2019年6月12日

(改訂日：2019年6月13日)

※改訂履歴は最終ページに記載

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ

HULFT 事業部

## HULFT Family 製品における Java の脆弱性 (CVE-2019-2699 等) に対する報告

HULFT Family 製品における Java の脆弱性 (CVE-2019-2699 等) に対する報告をご案内いたします。

－ 記 －

### 1. 脆弱性の内容

Java において、脆弱性が公表されました (CVE-2019-2699 等)。攻撃者に悪用されると、任意のコード (命令) が実行され、コンピュータを制御される可能性があります。

< Java の脆弱性に関する情報 >

<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20190417-jre.html>

<https://www.jpCERT.or.jp/at/2019/at190017.html>

<https://cve.mitre.org/cgi-bin/cvename.cgi?name=CVE-2019-2602>

<https://cve.mitre.org/cgi-bin/cvename.cgi?name=CVE-2019-2684>

<https://cve.mitre.org/cgi-bin/cvename.cgi?name=CVE-2019-2697>

<https://cve.mitre.org/cgi-bin/cvename.cgi?name=CVE-2019-2698>

<https://cve.mitre.org/cgi-bin/cvename.cgi?name=CVE-2019-2699>

<https://www.oracle.com/technetwork/security-advisory/cpuapr2019-5072813.html#AppendixJAVA>

### 2. 調査状況

上記脆弱性について HULFT Family 製品における影響をご案内いたします。

<HULFT Family 製品 調査状況 - 2019年6月12日 18:00 時点>

製品名	調査状況
HULFT	影響ありません。
HULFT8 Script Option	下記 2 点の脆弱性の影響があります。  CVE-2019-2684, CVE-2019-2699  HULFT8 Script Option は製品同梱の Java を使用するため、お客様での update や外部 Java の使用は動作保証しておりません。HULFT8 Script Option が利用する Java の update は実施しないでください。 今後のリリースにて修正予定です。リリース時期は未定です。決定次第、情報を更新いたします。
HULFT IoT	HULFT IoT Manager において、下記 1 点の脆弱性の影響があります。

	<p>CVE-2019-2699</p> <p>HULFT IoT Manager は製品同梱の Java を使用するため、お客様での update や外部 Java の使用は動作保証しておりません。HULFT IoT Manager が利用する Java の update は実施しないでください。今後のリリースにて修正予定です。リリース時期は未定です。決定次第、情報を更新いたします。</p>
HULFT-HUB	影響ありません。
HULFT-DataMagic (Ver. 1, 2) DataMagic (Ver. 3)	影響ありません。
HULFT クラウド (Ver. 1) HULFT-WebFT (Ver. 2) HULFT-WebFileTransfer (Ver. 3)	<p>下記 4 点の脆弱性の影響があります。</p> <p>CVE-2019-2602, CVE-2019-2684, CVE-2019-2697, CVE-2019-2699</p> <p>Oracle Java をご利用のお客様は、Java の実行環境を最新に update してください。</p>
HULFT-WebConnect	<p>HULFT-WebConnect Agent において、下記 2 点の脆弱性の影響があります。</p> <p>CVE-2019-2684, CVE-2019-2699</p> <p>Oracle Java または AdoptOpenJDK をご利用のお客様は、Java の実行環境を最新に update してください。</p>
HDC-EDI Suite	<p>HDC-EDI Base において、下記 3 点の脆弱性の影響があります。</p> <p>CVE-2019-2684, CVE-2019-2697, CVE-2019-2699</p> <p>HDC-EDI Manager において、下記 1 点の脆弱性の影響があります。</p> <p>CVE-2019-2602</p> <p>Oracle Java をご利用のお客様は、Java の実行環境を最新に update してください。</p>
iDIVO	影響ありません。
SIGNALert	影響ありません。
DataSpider Servista DataSpider Mini for Excel	<p>下記 2 点の脆弱性の影響があります。</p> <p>CVE-2019-2684, CVE-2019-2699</p> <p>DataSpider Servista および DataSpider Mini for Excel は製品同梱の Java を使用するため、お客様での update や外部 Java の使用は動作保証しておりません。DataSpider Servista および DataSpider Mini for Excel が利用する Java の update は実施しないでください。今後のリリースにて修正予定です。リリース時期は未定です。決定次第、情報を更新いたします。</p>

DataSpider Cloud	<p>下記 2 点の脆弱性の影響があります。</p> <p>CVE-2019-2684, CVE-2019-2699</p> <p>DataSpider Cloud は製品同梱の Java を使用しております。 今後のリリースにて修正予定です。リリース時期は未定です。決定次第、 情報を更新いたします。</p>
Thunderbus	<p>下記 2 点の脆弱性の影響があります。</p> <p>CVE-2019-2684, CVE-2019-2699</p> <p>Thunderbus は製品同梱の Java を使用するため、 お客様での update や外部 Java の使用は動作保証しておりません。 Thunderbus が利用する Java の update は実施しないでください。 今後のリリースにて修正予定です。リリース時期は未定です。決定次第、 情報を更新いたします。</p>
DataSpider BPM	<p>下記 4 点の脆弱性の影響があります。</p> <p>CVE-2019-2684, CVE-2019-2699</p> <p>Oracle Java をご利用のお客様は、Java の実行環境を最新に update してください。 なお、DataSpider BPM Ver. 2.2 以前をご利用のお客様は、 Ver. 2.3 以降へアップデートを行っていただく必要があります。</p>
PIMSYNC	<p>下記 1 点の脆弱性の影響があります。</p> <p>CVE-2019-2699</p> <p>PIMSYNC は製品同梱の Java を使用するため、 お客様での update や外部 Java の使用は動作保証しておりません。 PIMSYNC が利用する Java の update は実施しないでください。 今後のリリースにて修正予定です。リリース時期は未定です。決定次第、 情報を更新いたします。</p>

**【改訂履歴】**

2019年6月12日	初版作成
2019年6月13日	・DataSpider BPM の調査状況に DataSpider BPM Ver. 2.3 以降への アップデートのご案内を追記しました。

以上